古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　3697号
発行令和3年5月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南1条1丁目
TEL　25－2225

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

自民党菅原氏が議員辞職　菅政権で4人目

北大・丸井三越 職場接種へ

樽商大・北見工大前向き

北大は8日、政府が同日受け付けを始めた新型コロナウイルスワクチンの職場接種について、約1万5千人いる学生と教職員を対象にできるだけ早期の実施を目指すことを明らかにした。道内企業では札幌丸井三越（札幌）が来月以降に実施する方針を決めたほか、観光業最大手のアインホールディングス（3面＝打ち手模索カギ）（日D、札幌）が21日の接種開始に向け、9日にも政府に申請する。

アイン21日開始方針

職場接種は接種の加速化を図るために政府が導入。厚生労働省によると、モデルナワクチンを使用し、実施する大学や企業は必要な医療従事者を自ら確保しなければならない。医師や付属病院を持つ北大や札幌市が今月中に自衛隊の札幌コンベンションセンターに開設する大規模接種会場に医師を派遣することが決まっており、新たな人員確保が課題となる。職場接種は21日から可能になるが、北大は「打ち手などをどのように確保するかや接種の具体的な対象者、開始の時期は検討中」としている。

学生と教職員が計約2500人いる小樽商科大や北見工大は対面授業再開などのため接種を検討している。両大とも在籍する産業医や看護師では足りないため、地域住民の接種に支障のない範囲で協力してもらえる医師や看護師を探している。

一方、室蘭工業大は「自前で接種を終えるのは難しい」として当面、職場接種は見送る考えだ。道教大、旭川医科大、帯広畜産大は「対応は未定」としている。

札幌丸井三越は、自社従業員やテナントのスタッフを対象に来月以降に接種を進める予定。

道、大規模接種19日から

札幌で4市65歳以上に

道は8日、札幌市、江別市、千歳市、恵庭市の65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場を札幌市厚別区に設け、19日に接種を始めると発表した。道内の接種は、市町村が行う高齢者接種、今回始まる道の大規模接種、8日から申請が始まった職域や大学での接種の3種を進めることになる。道は全国下位の接種率を底上げし、政府が掲げる高齢者接種を7月末までに終えるスケジュールだった場合、7月中に約2万人の接種を目指す。ワクチンは米モデルナ製を使う。道は接種会場の追加設置や接種対象者の拡大についても随時点検するという。64歳以下の接種での運用については未定としている。

政府が公表した高齢者の接種状況によると、7日現在、道内の1回目の接種率は中46位。接種できる場所の少なさや医師の偏在、ワクチン配送に時間がかかることなどが原因とされる。

道は大規模接種会場の開設により、道内の65歳以上の高齢者約165万人の3割以上を占める4市での接種を促す。鈴木直道知事は8日、記者団に「設置を契機に接種を加速したい」と述べた。（藤本卓郎）

（27面＝職政懇せず）

道議会の大規模接種会場開設は初めて。札幌市厚別区の「ホテルエミシア札幌」に設ける。人口も感染者も多い札幌、千歳、恵庭、江別の4市に住む高齢者約61万人が対象。受け付けはウェブサイトのみで11日に始める。北海道医師会や札幌医師会、道薬剤師会、医療・療育センター（室蘭・苫小牧）、道立羊ヶ丘病院（札幌）、道立江別病院（江別）、道立北見病院（北見）、道立紋別病院（紋別）、道立羽幌病院（羽幌）、道立利尻病院（利尻）、道立礼文病院（礼文）、道立江差病院（江差）、道立八雲病院（八雲）、道立静内病院（新ひだか）、道立浦河病院（浦河）、道立広尾病院（広尾）、道立足寄病院（足寄）、道立遠軽病院（遠軽）、道立紋別病院（紋別）、道立名寄病院（名寄）、道立稚内病院（稚内